

令和2年度 第2回北海道立釧路芸術館運営協議会議事録

日 時 令和3年2月10日(水) 午後2時00分～午後4時00分  
場 所 北海道立釧路芸術館 アートホール

○出席委員 11名

○館出席者 6名

○釧路芸術館共同事業体運営委員会 運営委員会 委員長代理 1名

【議 事】(1) 令和2年度事業報告

- ア 展覧会事業
- イ 芸術・教育普及事業
- ウ 施設の利用状況
- エ 作品収集状況

(2) 令和3年度事業計画

- ア 展覧会概要及びスケジュール
- イ 芸術・教育普及事業・施設維持管理業務

(3) その他

1. 開 会

館長より、令和2年度第2回北海道立釧路芸術館運営協議会の開催する旨の挨拶。

2. 挨 拶

運営委員会 委員長代理より、本協議会でのご意見を館の運営に反映させていきたい旨の挨拶。

3. 委員及び館職員の紹介と協議会成立について

館長より、令和2年度第2回北海道立釧路芸術館運営協議会の開催にあたり、新たに就任した委員の紹介。次に、委員数14名中過半数の11名が出席となり、運営協議会規則第7条2項により本協議会が成立する旨を宣言し、議事に入った。

4. 議 事

(1) 令和2年度 事業報告

館長より、展覧会事業の概要や観覧者数、関連事業について報告。また、新型コロナ

ナウィルス感染予防のための休業要請を受けた臨時休館。クルーズ船寄港キャンセルについて説明。

次に、学芸主幹より各展覧会の詳細を説明。開催中の「木島誠悟 絵本のひみつ」展に関しては、モノクロの線で描かれた釧路の人々の姿に来館者が色を塗ったり、好きな言葉を書いたりして作り上げる、観客参加型の巨大壁画を紹介した。

続いて、館長が教育普及事業や貸館事業、自主事業の説明を行い、新型コロナウイルスの影響を受けて中止や延期となったイベントについても説明。個別の教育普及事業については、学芸主幹が補足説明を行った。

会長 今年度は初っ端から新型コロナウイルスの影響による臨時休館がありました。手も足も出ない状態からスタートしたわけです。この休館は他の道立館も同様でしたので、当時の近代美術館の状況についてお訊きしたいのですが。

委員 近代美術館で言いますと、北海道新聞社と開催することになっていました「古代エジプト展」や札幌市との「札幌国際芸術祭 2020」が中止になり、それを所蔵品の展覧会に切り替えましたが、来館者数は落ち込みました。最近はほぼ平常に近くなってきたかなと感じています。

一方では人数制限の関係で、これから開催予定の「猫まみれ展」は多くのお客様が来られると想定して時間指定券の販売をローソンで始めたのですが、なかなか売れません。まだ時間指定というものになじみが薄いのと、特に年配の方はローソンまで行ってご自分で機械を操作して来館する時間まで決めてとなると、購入して頂けないということで、急遽販売を止めました。土日だけ日時指定券を残して平日は時間指定不要とし、ただし入場は1時間で170名未満に制限する形にしました。

さて、先程の事業報告の中で教育普及事業を色々工夫して実施されているなど大変感銘を受けました。一方で展覧会の入場者数があまりにも厳しい数字で、コロナ禍ということ差し引いても正直深刻ではと感じました。来年度に入場者数が回復するのか心配です。

観覧料収入もかなり落ち込んだと思いますが、道の方から何か補填などはあったのでしょうか。

館長 指定管理料につきましては、直して頂いて、サポートしてくださっていると伺っています。

例えば昨年2月29日から展覧会が中止となりました。その前年の同時期には「ピカソ版画展」を開催していたので、その数字を道へ報告させて頂いた、経過があります。

会長 入場者数やお金の問題については毎回話題になりますが、コンベンションリンクージさんはその辺りの経営についてどのような対応をお考えですか。

運営委員 弊社は札幌コンベンションセンターや札幌市資料館も運営しておりますので、そちらで釧路芸術館のチラシ・ポスターを設置し周知を行っております。また、全国の拠点でも同様のことをしております。コロナ禍の中でどのように来館者を増やしていくか館の方々と協力しながら考えていきたいです。

委員 教員のための鑑賞研修や松ぼっくりツリーに挑戦など、非常によく努力されていると思います。後者のイベントに関しては、製作の様子を動画配信すると効果的な広報手段になるのではないのでしょうか。今後も SNS を使っての情報発信を続けて行って欲しいです。

もう一点、以前あった「我が町のお宝展」はもう開催されないのですか。

学芸主幹 イベントの動画配信は、「荒川好夫写真展・栗谷川健一ポスター展」は新型コロナウイルスの影響による臨時休館に重なっていたため、展覧会の風景を配信するリモートミュージアムを行いました。今後のイベントでも検討していきたいです。

SNS に関しては、以前はボランティアの会のアカウントをお借りして発信していましたが、昨年釧路芸術館のアカウントを作成して館職員が持ち回りで更新しておりますので、委員の皆様にも「いいね」を押して頂きたいです。

「我が町のお宝展」については、「お宝」という名称はついていませんが、今年度は「大漁旗展」という展覧会をフリーアートルームで開催しました。地域の貴重な文化財をご紹介する展覧会は、今後も行って行こうと考えております。

委員 毛綱毅曠展の時に厚岸町女性団体連絡協議会の会員で観覧させて頂いたのですが、釧路市立博物館や湿原展望台といった毛綱さんの手がけた建物にも寄ればよかったなと思っています。

「大漁旗展」ですが、漁業がまだ賑わっていた頃の思い出が蘇って非常に良かったです。

厚岸の「お宝」については、正行寺の襖絵展を以前釧路芸術館で開催されていまして、今後も身近にある貴重な文化財で集客を図るということを考えて行ければいいなと思いますので、よろしく願います。

委員 昨年着任したての頃に毛綱毅曠展や大漁旗展を見させて頂きましたが、この地域にはこうした文化財があるということがわかり、とても勉強になりました。今はコロナ禍で、遠方からのお客さんはなかなかいらっしゃらないと思いますが、色々な文化の発信拠点として是非継続して行って頂きたいです。

さて、観覧者数についてお訊きしますが、長期的には減っていつている状態だと思いますが、大きな展覧会だとお客さんがたくさんいらっしゃるという感じでしょうか。

学芸主幹 観覧者数のお話をしますと、来年度は北海道新聞社さんと実行委員会を組んで開催する展覧会がありまして、そうすると大々的に PR されて、観覧者数に結びつくというのはあるのですが、そういった実行委員会形式で一定程度の分担金が必要なメジャーな展覧会を開催できるのが 2 年に一度となっています。

実は令和 2 年度は全て自主企画の展覧会で、運営していくのも大変だったのですが、それがなかなか観覧者数に結びつかないという状態です。これからは展覧会以外のイベントや貸館のお客様を展示室に誘導する仕組みを作っていかなければならないのかなと考えています。

7 月には、芸術館のアカウントで SNS を始めてからちょうど 1 年になりますので、次回の運営協議会ではその総括を予定しております。

それから先程も申しましたが、アートホールの貸館で例えばピアノ発表会の場合、お子さんがロビーで出番を待っていることがありますので、その子たちにボランティアの会の招待で無料だからと展覧会を見てもらおうということをしているのですが、せっかく貸館で人が集まっていますので、うまくその流れを作っていきたいと考えております。

館長 当館は指定管理者制度で運営されておりまして、北海道教育委員会から求められている目標値があります。その中で観覧者数目標は毎年右肩上がりで増えていつているのですが、一方で地域人口は減っています。目標値と相まっていないのが実態です。とはいえ、目標は現実にありますので、どうやってそれを達成していくかというのが喫緊の課題です。

様々な世代の方が一度でも足を運んで頂けるような展覧会、今年度で言えば「木島誠悟 絵本のひみつ」は久しぶりにファミリー向けで、子どもたちが楽しんでいる様子を見えています。そうした小さい頃から親しめるような展覧会があれば、当館のファンになって頂けるのかなと思います。

会長 先程は厚岸の話がありましたが、根室はどうでしょうか。

委員 私は展示に関わっている人間でして、今年は絵画展を予定しておりますが、ホームページを立ち上げて YouTube で配信しようという話が出ています。やはり何か動きが無いとだめではないかということで、全道展の方でも色々と計画があります。

さて、木島さんの展覧会を協議会の前に見させて頂きましたが、とても良かったです。中央に展示されていた絵本原画に関して、絵は子ども向けでしたが、言葉を追っていくとむしろ大人が見た方が良いと感じましたし、地方でも展示してほしいと思いました。原画の所有者をお聞きしたら、市教委ということですね。

学芸主幹 一番古い作品の「キリンがくる日」と「白くまゆうびんきょく」は釧路市教育委員会が持っていますが、それ以外の絵本原画は実は木島さんがデジタルで描いた作品をプリントアウトして展示しています。ですから、そうした方法をとれば、どこでも展示できます。

委員 色々お話しを聞いてご苦労されているなという感想を持ちました。文化施設の窮状はなかなか取り上げられにくいので、光を当ててもらうために声を上げていくことも必要だと思います。

委員 今は、コロナの影響で様々な行事が中止になっていますが、こうした優れた作品を見られる機会は心の教育に良いので、ぜひ続けていって欲しいと思います。

入館者数というお話がありましたので、私なりの感想を2点言わせてもらいます。錦町駐車場の割引のことを知らないお客さんが多いので、もっとアピールした方が良いと思いますし、それと他の駐車スペースの確保ですね。もう一点は、チラシやポスターを送って頂いてますが、今後は学校の美術教員にもっとお声掛けをして頂けるとありがたいです。

## (2) 令和3年度 事業計画

学芸主幹より、各展覧会について概要の説明。「安野モヨコ展」では会期中7月と8月の金曜日に7時までの開館延長を行い、延長時間に関連イベントを開催することで、集客を図る旨の表明。「羽生輝展」は当館での開催後に北海道立近代美術館でも開催することになっているため、両館で緊密に連携しながら準備しているとの説明があった。

会長 令和2年度の受贈候補作品リストで奈良原一高さんの写真について記載がありますが、ご説明いただけますか。



会長           新型コロナウイルスの影響、それから地域人口の減少という苦しい状況の中、ご苦労されていると感じます。釧路芸術館は道立の社会教育施設であるとともに、道東の文化教育の貴重な資源でもありますので、なんとか知恵を絞って力を出し合って運営に携わっていきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

運営委員長代理より、SNS 発信の強化の他に、修繕も予算を見ながら進めて行く旨の挨拶があった。

館長より閉会の挨拶があり、北海道立釧路芸術館令和2年度第2回運営協議会は終了となった。